



AMAGASAKI ROTARY CLUB

DISTRICT 2680

<https://amagasaki-rotaryclub.org/>

例会場：〒660-0881 尼崎市昭和通3-96

尼崎商工会議所 7階ホール

例会日時：月曜日 12:30～13:30

会長：伊口 隆弘

幹事：小林 靖子

公共イメージ委員長：西良 耕一

No. 11

発行日 2025年 10月 27日

本日のプログラム 10月 27日

次回例会 11月 3日

「地域活性化への取り組みについて」

担当：桑山会員

祝日休会

10月6日（第1例会）

1. ソング

(夕焼けこやけ)

2. 出席率報告

会員数 25 (23) 名 出席 16 (15) 名

出席 64.00% 前々回補正 64.00%

2. ビジター紹介

なし

4. 会長の時間

皆さん こんにちは！前回の例会から2週間経ちましたが、朝夕はめっきり涼しくなりました来週には最低気温が10℃を下回る日もあるようですので、体調管理に留意なさってください。

さて本日は、先々週の10月6日(月)に尼崎城野外能舞台にて開催された第46回尼崎薪能のお話をしたいと思います。皆さんご存知のように当尼崎ロータリークラブも長年協賛している行事で、今年も火入れ式でかがり火を灯してきました。薪能の舞台は、かがり火の揺らぎが大きな演出効果を生み出します。しかし、このかがり火は、たんなる照明装置ではありません神社や仏閣で行われる薪能は、それ自体が神事法会のひとつだそうです。舞台に先立ち、神官僧侶による「火入れ式」が行われます。

薪に火をつけ、かがり火を灯すものですが、

その種火は、人力でおこします。「轆轤鑽（ろくろひきり）」という火おこし器を使い、摩擦熱で火をおこす、昔ながらの方法です。木くずを焦がし、紙を添え、木片を添えて、少しずつ大きくしていく火が、松明をめらめらと燃やします。その火を消すことで、舞台そのものが闇に消えて終幕となる薪能では、火そのものの変化を感じてみるという楽しみ方もあり、舞台同様に、その時だけの二度はない貴重な体験となるようです。尼崎薪能は現代に作られた尼崎城で開催されるので、灯油を使いライターで火を起こし、神官や僧侶ではなく我々が火入れ式を行います。それ自体は仕方がないことですが予備知識として説明などがあると、薪能への興味が更に高まるのではと思いました。今年の会場は尼崎城の野外能舞台でお堀に舞台を設置し、バックの尼崎城が照明で真っ白に映えていました。よくみる能舞台は舞台奥に鏡板(かがみいた)と呼ばれる松が描かれた壁があり、諸説ありますが、奈良・春日大社

「影向(ようごう)の松」言われています。影向とは神仏が現世に降臨することで、春日明神の化身である松が観客席の側に存在しておりそれを鏡のように映したものが鏡板であり、つまり舞台上の役者は観客ではなく神に向かって演じているのだそうです。さて、肝心の舞台ですが、最初に尼崎こども能楽教室で日々お稽古に励んでいる小学一年生から大学生までの10数名がそれぞれ立派な舞を披露して

手に手つないで共に歩もう



よいことのために手を取りあおう

くれました。尼崎に住む子供達の舞に将来の文化芸術の向上を託したいと思いましたが、その応援をしていく事が重要だと再認識しました。続いてメインの「土蜘蛛」が舞われました。病気で臥せる源頼光（みなものらいこう）のもとへ、召使いの胡蝶（こちょう）が、処方してもらった薬を携えて参上しますが頼光の病は益々重くなり、夜も更けた頃、頼光の病室に見知らぬ法師が現れます。よく見るとその姿は蜘蛛の化け物で、あっという間もなく千筋（ちすじ）の糸を繰り出し、頼光をがんじがらめにしようとするのを、頼光は枕元にあった源家相伝の名刀、膝丸（ひざまる）を抜き払い斬りつけると、法師はたちまち姿を消してしまいました。騒ぎを聞きつけ大勢の部下を従えて駆けつけた侍臣独武者（ひとりむしゃ）に事の次第を語り、名刀膝丸を「蜘蛛切（くもきり）」に改めると告げ、蜘蛛の化け物を成敗するよう独武者に命じます。独武者が土蜘蛛の血をたどっていくと、化け物の巣とおぼしき古塚が現れ、これを突き崩すと中から土蜘蛛の精が現れます。土蜘蛛は千筋の糸を投げかけて独武者たちをてこずらせますが、大勢で取り囲み、ついに土蜘蛛を退治します。というお話です。見どころはシテが和紙でつくられた蜘蛛の糸を投げる場面でしょうか。現在のように沢山の糸を投げる演出は、明治初期の金剛流家元、金剛唯一が工夫したものとされています。白い蜘蛛の糸が放物線を描いて宙に浮く様子は、ショー的要素が強く、見た目にも華やかで、大変興奮しました。



5. 幹事報告

○特になし

6. 委員会報告

○特になし

7. SAA 報告

~~~~~ ジョイフルBOX ~~~~~

\*児玉よしのり様、ようこそお越し下さいました。

ミニコンサート楽しみにしております

.....伊口・小林、各会員

\*児玉さま本日はよろしくお願い申し上げます

.....水谷会員

\*所用により例会に出席できずすいません。たぶん2月ぐらい迄かと。よろしくご理解のほどを。

本日は早退します。すいません。

.....西良会員

本日の合計 3,000 円

## 8. 前々回補正（9/29）

柄谷、武田、各会員

## 9. 本日の欠席

柄谷、藤原、石塚、近藤、森實、長村、中島、武田、吉田、各会員

## 10. 本日の回覧

○6RC 親睦ゴルフコンペのご案内

## 11. スピーチ

「ミニコンサート」

まつさかき 研究所代表・民謡指導家  
幸真會 二代目 會主

児玉 宝謹 氏

担当：親睦活動委員会

